

第2回 学校運営協議会 議事録

校名	府立淀川清流高等学校
校長名	川口 賢志

開催日時	令和6年12月6日（金）15:00～16:30
開催場所	大阪府立淀川清流高等学校 校長室
出席者(委員)	國守 正二委員・白木原 亘委員・高元 伊智郎委員・中島 陽子委員・荒木 和敏委員
出席者(学校)	校長 川口 賢志・教頭 天満 康次郎・教頭 松本 秀樹・事務長 橋本 博之・首席 高橋 健一 首席 松村 吉博
傍聴者	なし
協議資料	令和6年度 学校経営計画及び学校評価 など
備考	

議題等(次第順)

- ・会長挨拶 ・校長挨拶
- ・協議
 - ①令和6年度 学校経営計画 進捗状況について
 - ②（１）第1回授業アンケート結果について
 - （２）進路決定状況について
 - （３）遅刻指導進捗状況について
 - （４）特別活動部 進捗状況について
 - （５）校内研修と勤務実態について
 - ③令和6年度使用教科書一覧表
 - ④その他
- ・次回の日程確認

協議内容・承認事項等（意見の概要）

- ①令和6年度 学校経営計画 進捗状況について（川口校長より）
- 在籍状況の確認。転退学者については学校のリズムに合わなかった生徒が多い。本校卒業をしてもらうことが一番だが、高校卒業を前提に進路変更をする生徒が多い。
- 入学後に行ったアンケートについて。本校の満足度は約8割が肯定的な意見となっている。本校を選んだ理由は中学の先生からの進めが一番多い。このことから、中学校訪問や、中高連絡会などで積極的に働きかけることが大事なことがわかる。また、本校を選んだ時期は3学期が多いことから、第1回、第2回のオープンスクールにより力を入れる事が良い。
- 8期からは新しいカリキュラムを通して、キャリア教育に力をいれ、10年目に向かって進んでいく。
- ②
- （１）「確かな学力を育成する」 ・第1回授業アンケート結果について（天満教頭より）
- 7月に実施した授業アンケートの結果と過去5年間の比較について説明。
- 昨年度低い結果がでていた部分も良くなっている。一人一台端末の利用は増えてきている。
- 数学の評価が上がっているがそのきっかけを教えてほしいという質問に対し、数学に対し苦手意識を持っている生徒はまだ多いが、放課後等に補習や、個別対応もしていることから、教員の対応に対しての評価が上がったのではと考えていると回答した。（高橋主席）
- 今は考えさせる授業が大事だという意見が出た。
- （２）「進路を実現するため、系統的なキャリア教育を推進する」 ・進路決定状況について（天満教頭・高橋主席より）
- 5期生の就職状況・進学状況について、資料を用いて説明。
- コロナ化があげ、人手不足から高卒求人企業の数が増えている。就職指導で不安な面もあったが、一次内定率が高い結果となった。
- （３）「生徒一人ひとりに寄り添い、丁寧な生徒指導を推進する」 ・遅刻欠席進捗状況について（天満教頭より）
- 今年度の遅刻、欠席の状況について、資料を用いて説明。
- 遅刻の数字は、昨年度の3年が特に力を入れて指導していたことから、前年度との比較としては増えている。しかし、過去2番目に少ない数字になっている。
- データを分析し、特徴をみつけ生徒の変化に応じた取り組みをしてほしいという意見が出た。
- 昨年の3年はどのような取り組みをしたのかという質問に対し、学年で協力し声掛けを意識して行なったと回答した。（松村主席）
- （４）「自尊感情、自己有用感を育む教育を推進する」 ・特別活動部 進捗状況について（天満教頭より）
- 今年度の生徒会活動について、資料を用いて説明。
- 地域清掃の参加者数が増えてきている。体育祭、文化祭時の保護者の来校も増えてきている。部活動加入率も増えている。学校としても良い傾向になってきている。
- 人数少ない部活の合同チームはどこと組み合わせかという質問に対し、大阪のペアリングには入っていないが、顧問間で連携が取れる学校と組んでいると回答。
- （５）「教職員の資質向上と校務の効率化を推進する」 ・校内研修と勤務実態について（天満教頭より）
- 今年度実施した教職員研修、時間外勤務実績について、資料を用いて説明。
- ICT更新について協議した。
- ③令和7年度使用教科書一覧表（松村主席より）
- 次年度使用教科書について確認いただいた。

次回の会議日程

日時	令和7年3月1日（土） 9:30～
会場	大阪府立淀川清流高等学校 校長室